

NHK
文研フォーラム

2023

放送アーカイブの 「公共利用」

～地域文化施設アンケートからみえる放送局の新たな使命～

NHK放送文化研究所
主任研究員 大高 崇

調査報告

北陸3県 公共文化施設等

放送アーカイブ利用ニーズ・アンケート調査

専門家へのヒアリング

放送局による「アーカイブ活用」の例

局内に眠る映像を放送&ウェブサイトで発信 (NHK金沢)

NHK

NHKについて 新型コロナ ニュース 番組表 NHKプラス 受信料の窓口

金沢放送局

地域の番組 イベント アナウンサー 放送局情報 お問い合わせ

懐かしの映像

夕方ニュース番組「かがのとイブニング」の人気コーナー。
NHK金沢に残る歴史的映像を使って、石川県のさまざまな横顔を探ります。

放送日 **G** 午後6時10分「かがのとイブニング」のコーナー(月曜日・随時)

<https://www.nhk.or.jp/kanazawa/natsukashi/>

調査目的

- NHK経営計画2021-2023 「地域の発展にさまざまな形で貢献」
- 放送アーカイブの大半が非公開 (NHK・・・番組110万, ニュース項目900万超)
もったいない。「放送局だけで活用」は無理では？

新たな地域貢献とは？

- 「文化資産」・・・**地域文化拠点 (博物館など) での活用**の可能性は？
- しかし、地域での放送アーカイブのニーズ調査等の先行研究がない



地域
文化拠点

調査概要 【アンケート調査】

➤ 2022年2月～3月 配付回収式

➤ 調査対象 **石川・福井・富山の436施設・団体**

図書館、美術館、博物館、資料館・史料館

(石川県のみ、教育機関、観光協会、地域市民団体等を含む)

➤ 回収数 **359 (約82.3%)**

注:調査対象は無作為抽出で選定していない。

各県の「県〇〇協議会・協会」のすべての加盟機関などを対象
現場担当者の「声」の収集・分析が主目的

調査概要 【専門家へのヒアリング】

【現場担当者】

- 岡田秀則氏（国立映画アーカイブ 学芸員）
- 立浪佐和子氏（横須賀美術館 学芸員）
- 斉藤泰子氏（神奈川近代文学館 学芸員）
- 根本隆一郎氏（NPO古き良き日本を継承する会 代表）

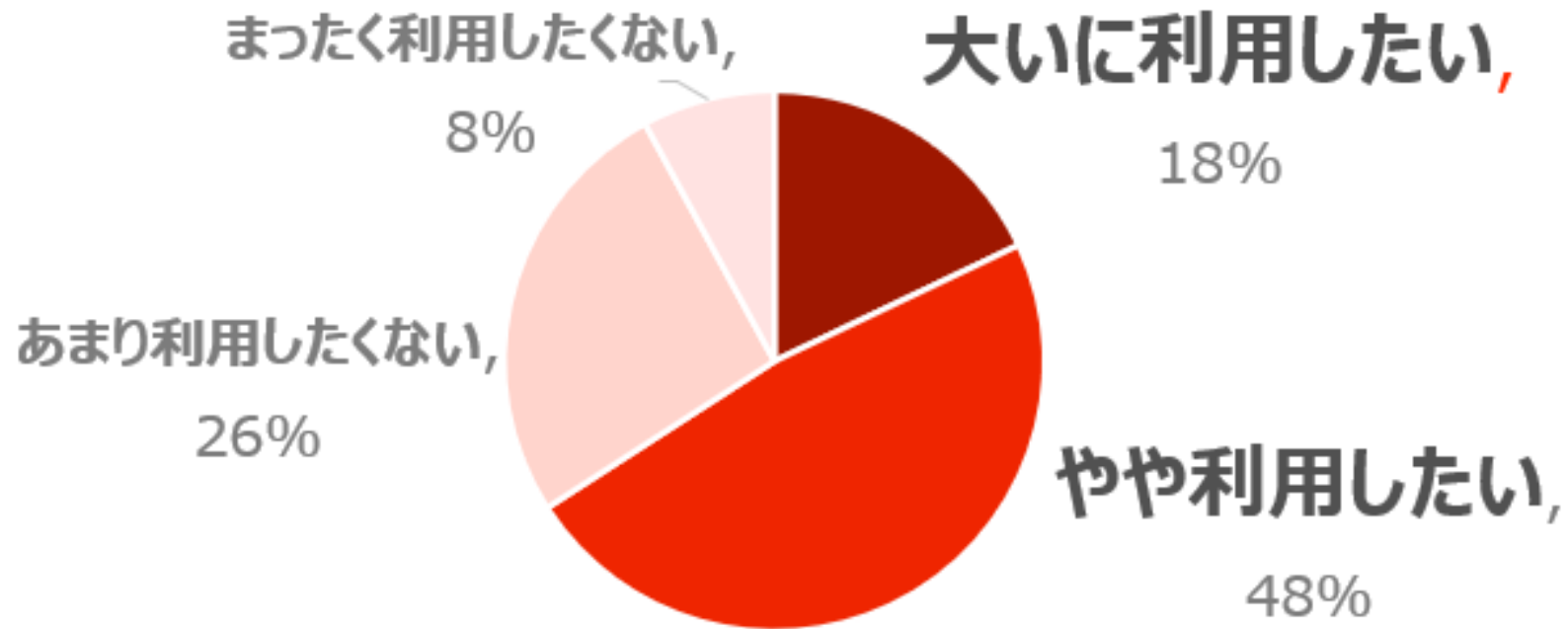
【研究者・有識者】

- 橋本純次氏（社会構想大学院大学 専任講師）
「文化施設の敷居の高さを若者は敬遠している」
- 太下義之氏（同志社大教授/文化審・博物館部会 委員）
「ミュージアムは存亡の危機。『必要ない』ものになる瀬戸際」

①放送アーカイブへのニーズ、その理由

②アーカイブ活用への障壁と要望

①放送アーカイブのニーズ



Check

7割近くが「利用したい」

最も高いのは美術館 (81%)

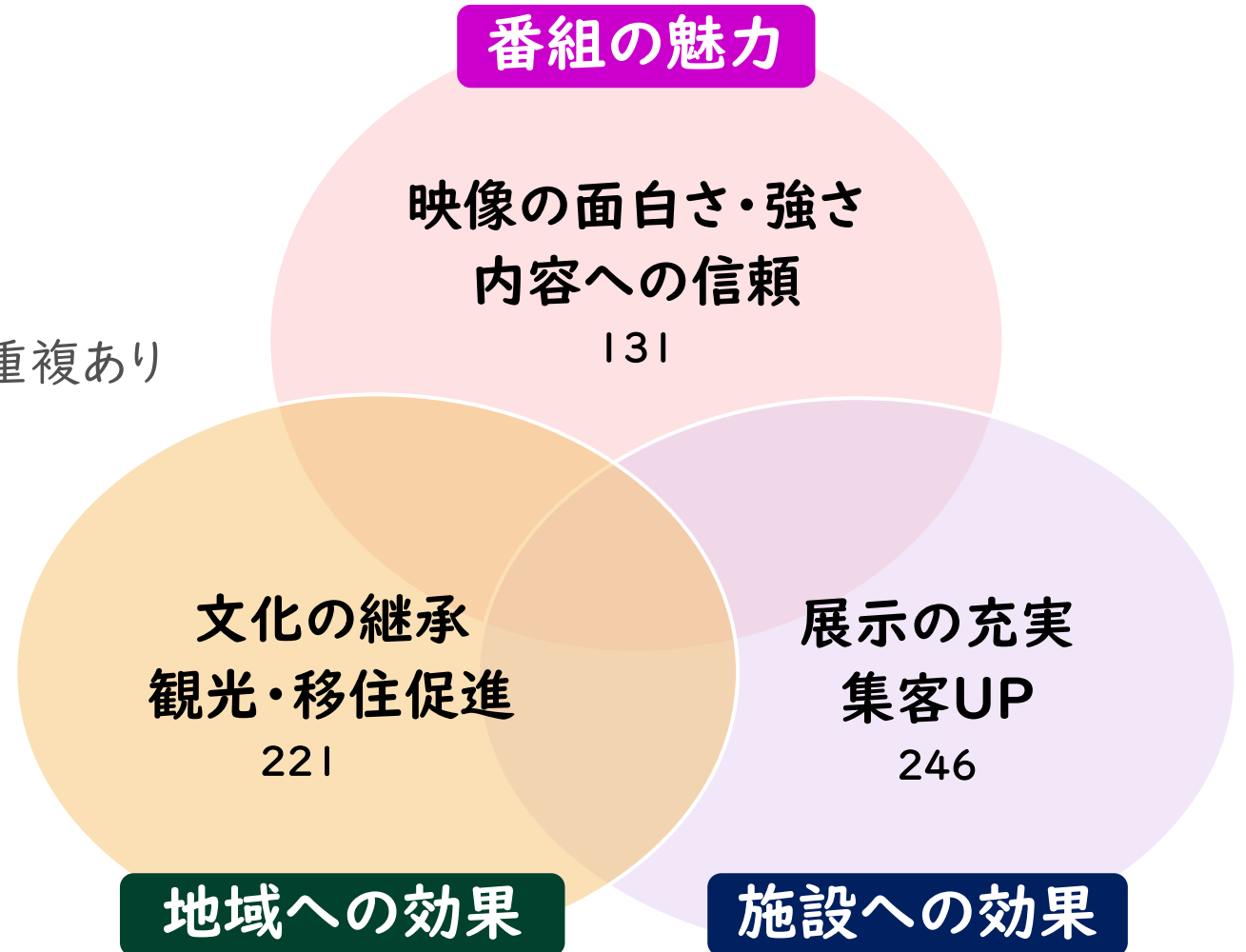
①放送アーカイブのニーズ

自由記述を読み解く

「利用したい理由・背景」

「期待される効果・可能性」

※全ての自由記述回答をもとに分類。重複あり



番組の魅力

アンケート

- 口伝や文章では伝えきれない時代の空気を体感できる（美術館）
- 映像だと表情等から人の内面まで伝わる（図書館）
- 没後の人物の展示では生前の声は貴重な記録（博物館）

ヒアリング（横須賀美術館学芸員・立浪氏）

- 現代のクリエイターは、番組のために作品制作することも多い

展示には「原画」「脚本」とともに、ドラマなど完成作品（=番組）が必要

施設と地域への効果

アンケート

施設

- 映像は、**展示や企画の内容を補完**する（美術館）
- コロナで集客困難。**新たな事業の可能性**を見出したい（博物館）

地域内

- 語り手減少、文化消滅への防波堤**。地域再生の起動力（博物館）
- 回想法**の素材として、高齢者の健康や世代間交流（図書館）

地域外

- 番組の**素材をSNSで発信、地元PR**に活用したい（美術館）
- 観光客の誘致**につなげたい（博物館）

NHKアーカイブス 回想法ライブラリー



なつかしい映像を見て
思い出を語り合う

脳の活性化 情緒の安定
認知症の進行予防などに
つながる可能性

全国の高齢者施設で利用



「利用したい番組」「利用方法」は・・・

利用したい番組

- 教育史、郷土の先人、昔の暮らし、自然、産業、文化番組（博物館）
- 郷土の話のほか、栽培関係、電子機器操作に関する番組（図書館）

利用方法

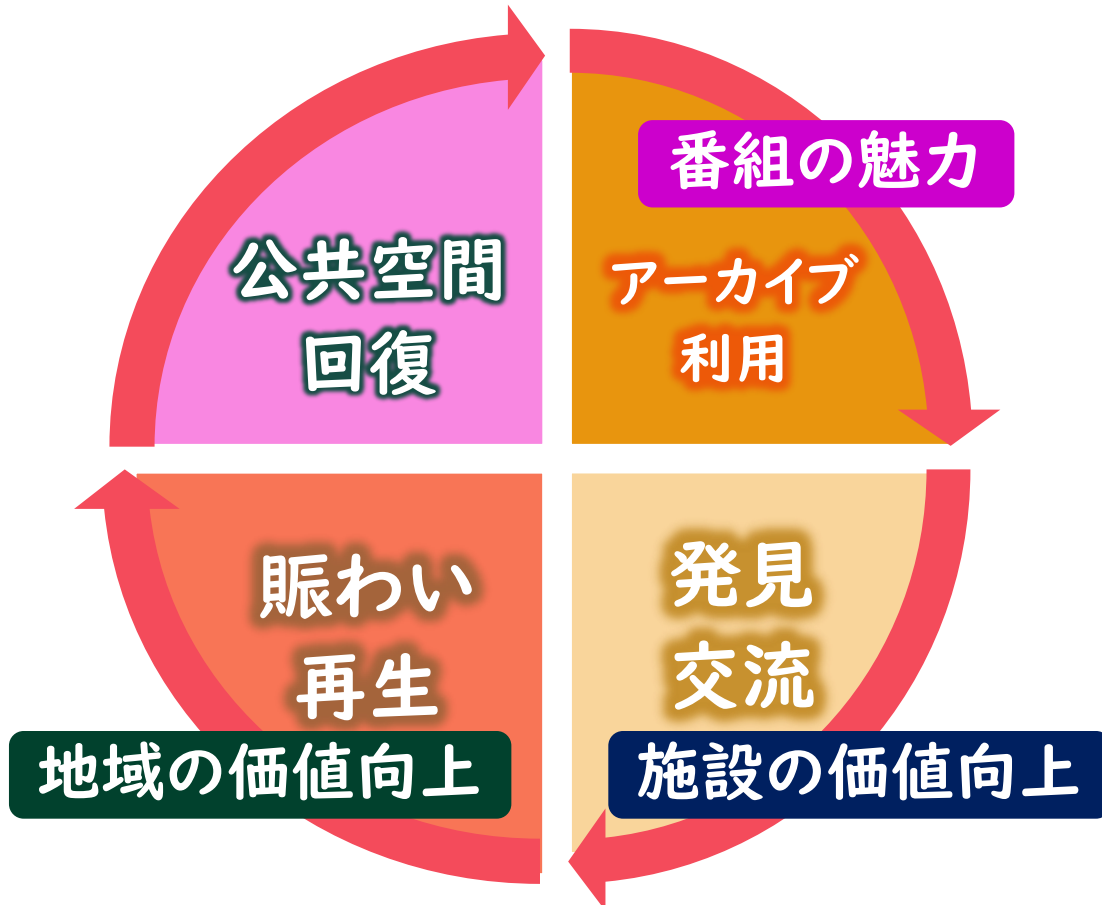
- 映像を編集して配信、静止画をチラシ等に使用（図書館）
- AR(拡張現実) 動画再生の企画（博物館）

Check

地域のニーズは多様

ニーズから浮かぶ「三方良し」

放送局の価値向上



存在感薄れる「公共機関」が
アーカイブを通して連携



施設・地域・放送局ともに
公共的価値を高める

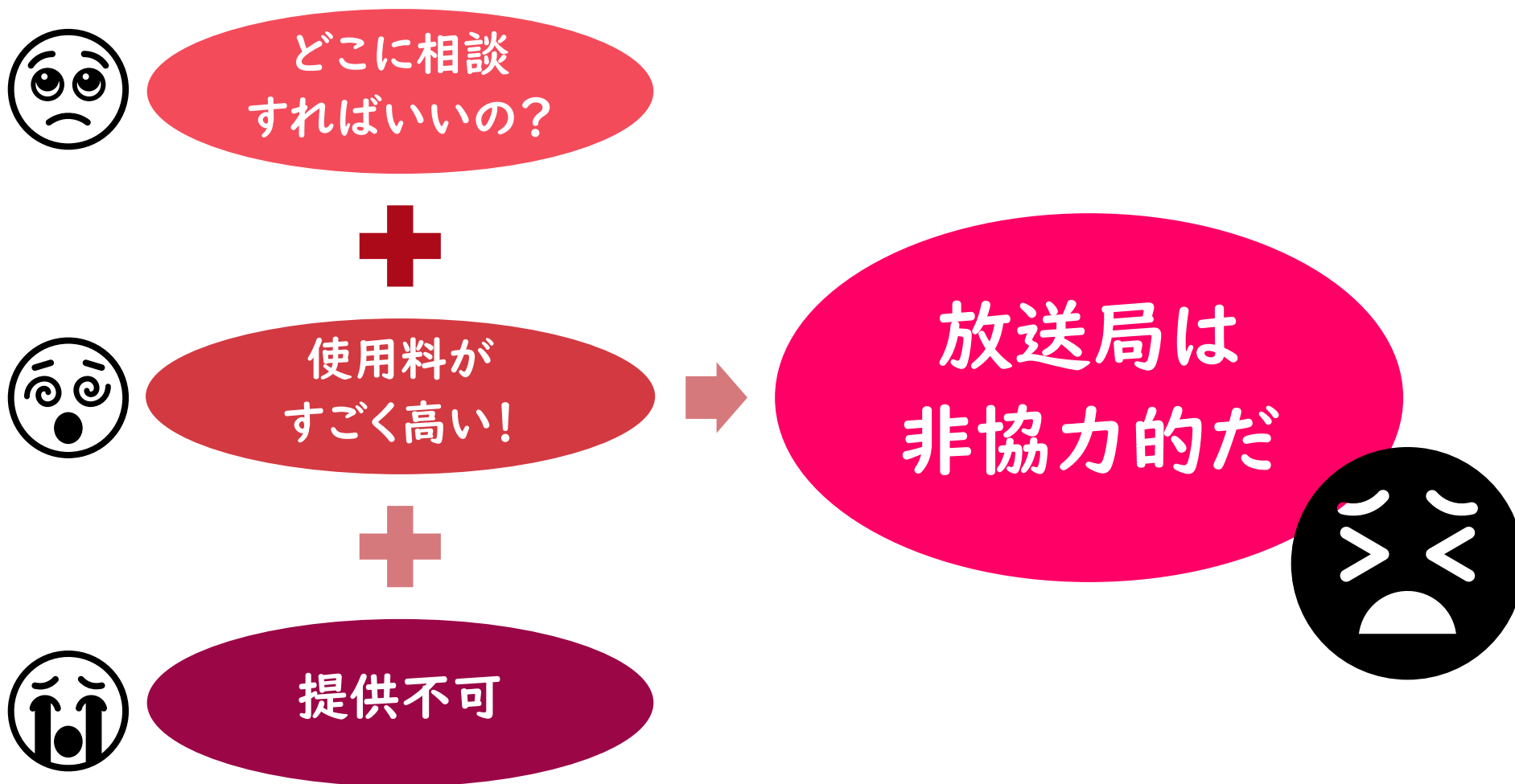


「三方良し」の好循環の期待

しかし、
活用に向けては
多くの障壁が・・・



②放送アーカイブ活用への障壁と要望



障壁は「アクセスが困難」「高額な使用料」etc.

アンケート

アクセス 困難

- 申請に手間、敷居が高い。コンテンツが探しにくい（史料館）
- 有料か無料か、許可必要か、すべて不明（図書館）
- 若年層はPCで検索・視聴できないと使いません（教育機関）

使用料 高額

- NHK番組を利用しようとしたが、高額なので断念（博物館）
- 昔の番組は無料公開してほしい（図書館）
- 一定のルールのもとでの利用は可など考えてほしい（博物館）

障壁は「アクセスが困難」「高額な使用料」etc.

ヒアリング

(国立映画アーカイブ 学芸員・岡田氏)

- アーカイブの公開, 利用者のアクセスへの対応にも努めることで
未来の映像作家の育成, 映像文化の発展につながる

(横須賀美術館 学芸員・立浪氏)

- 放送局が認めなければ, 出演者本人ですら使用できない
これは大きな課題だ

Check

放送アーカイブと地域文化施設

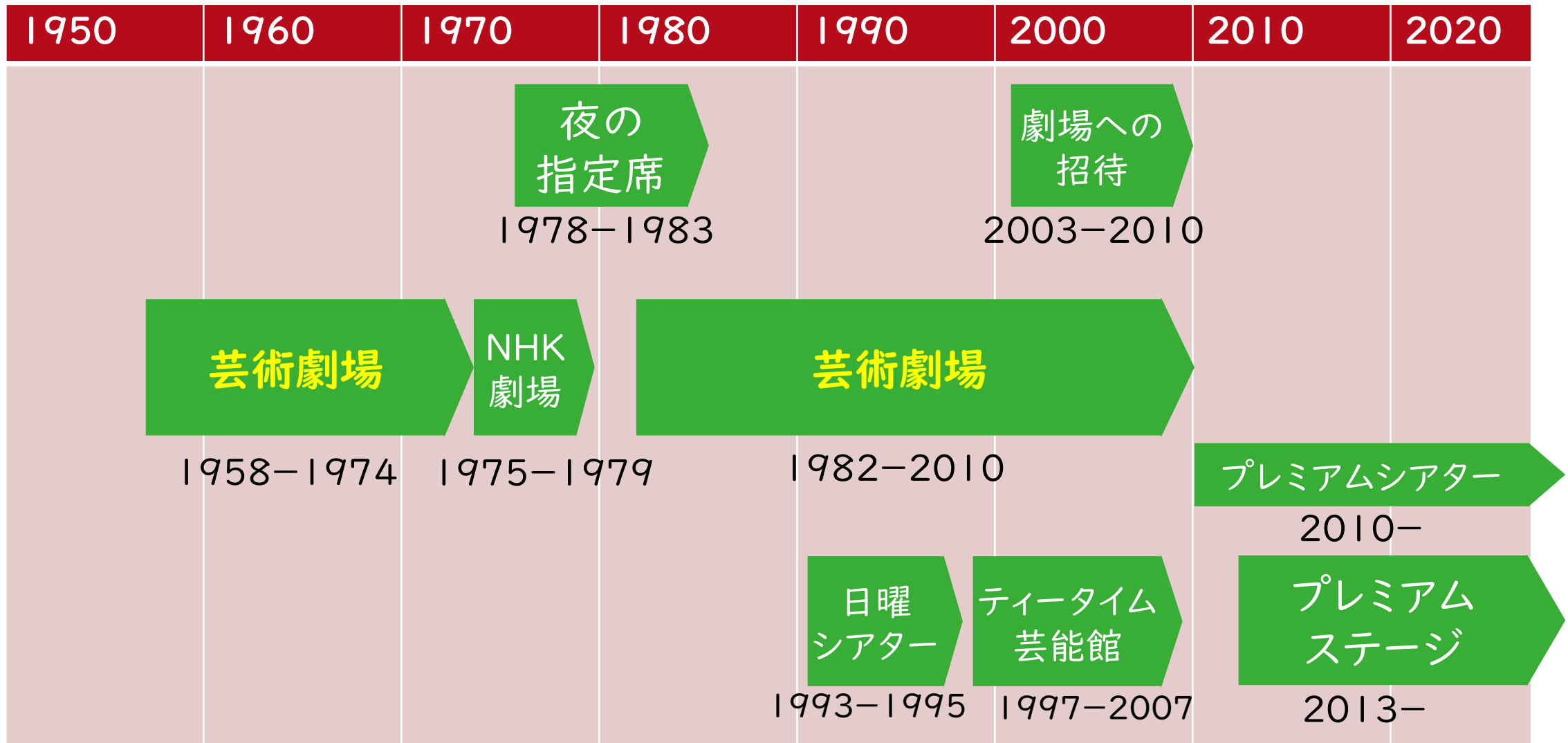
高いニーズ

- 放送アーカイブの利用ニーズは約7割
- 利用したい番組、利用方法のニーズは多様
- 施設・地域・放送局の「三方良し」の可能性

障壁・課題

- 利用するためのハードルが多く、不満感が高い
- 主に「アクセス困難」「高額な使用料」が理由

NHKの劇場中継番組 (テレビ・主なもの)



放送アーカイブの「公共利用」に向けた課題

- 権利処理が困難
- 放送局に「公共利用」の提供スキームがない

私案

文化施設等の**公共利用**に対する
アーカイブ提供の条件・基準

公益目的で提供できるコンテンツの条件・基準

以下の3条件をすべて満たす映像・音声

【提供先の施設や企画の条件】

- ① 施設や、その企画の公益性・非営利性
- ② 放送アーカイブ利用の必然性・非代替性

【提供できるコンテンツ】

- ③ 配信・DVD等で有料提供していない
または、人権侵害等の問題のない番組等

提供先の施設・企画の条件 ①公益性・非営利性

- 博物館法（美術館も含む）に基づく登録博物館、博物館類似施設、図書館法に基づく公立・私立図書館と学校附属図書館が原則
- 企画展等が営利目的でないこと
 - ※ 営利企業・団体が商品宣伝や販売促進で実施されるものは提供不可
 - ※ ただし営利企業が参加する場合でも、文化支援や社会貢献（メセナ等）を目的とする非営利利用の場合、提供可とする
- 特別展・企画展の場合、観覧料「上限1,000円」程度では？

提供先の施設・企画の条件 ②必然性・非代替性

- 展示において映像使用の必然性があること。
また当該映像に代替性がなく、他の方法では入手不可能なこと

(例)

- ✓ ある作家の回顧展において、
「その作家自身が写る映像」「その作家が制作した映像」など。
- ✓ 社会風俗（街とその時代のファッション等）の企画展において、
その事象をとらえた当時のニュース映像など

③ 提供できるコンテンツ

放送アーカイブ

有料で提供中



従来通りの使用料・運用

人権侵害や放送倫理面で
懸念の多い映像
(犯罪被害の様子等)



提供お断り

無料 or 少額(手数料+α)で提供

- a. 放送局のウェブ等で無料公開中
- b. 権利者が放送局だけ(風景映像、局制作のCGなど)
- c. 権利者が放送局と当事者だけ(インタビューなど)
- d. パブリックドメイン(著作権保護期間満了)
- e. 著作権法が認める利用(引用、非営利上映など)
- f. ほか、許諾取得可能な映像・音声

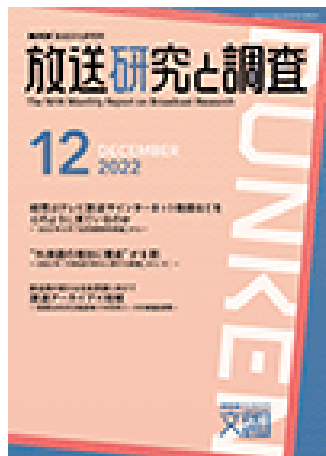
※放送局側で提供予定コンテンツを一覧化し、チェック⇒仕分け・可視化

本日の調査研究は・・・

放送研究と調査 2022年12月号

放送アーカイブの「公共利用」

～地域公共文化施設等での
利用ニーズの調査研究～



こちらからお読みいただけます

https://www.nhk.or.jp/bunken/research/domestic/20221201_5.html

放送アーカイブの「公共利用」

～地域文化施設アンケートからみえる放送局の新たな使命～

END